

藤山 ゆきこ

活動報告 vol.36 2026.7



令和8年度6月定例会が7月10日に閉会しました。4月に知事選挙があったため、この6月定例会で肉付け予算が編成され、それに伴う予算特別委員会も開催されました。この予算は、西脇知事3期目のテーマ「わくわくする京都」に向けた歩みをスタートする予算であり、今年度はこれまで1丁目1番地として取り組んでこられた「子育て環境日本一」の深化、京都産業や文化の創造、安心安全の確立、基盤整備など、2期8年間積み上げてこられたものを土台にして大きくジャンプする4年間の最初の年です。それぞれの政策がより深いものになっているか、時宜にかなったものになっているか注視していきます。そして、私にとりましては4期目の最後の1年です。表面に見えるものだけでなく、根幹の部分と未来の枝葉の部分、両方に目を向けた京都府政の在り方について考えるとともに、分断が進む現在の社会においてこそ、多様性の中でも守るべきものをしっかりと守っていく、その覚悟をもって取り組んで参りたいと考えています。よき日本、よき京都を後世に残すために、これからも尽力して参ります。変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。暑い夏になりますが、皆様ご自愛ください。

京都府議会議員 藤山ゆきこ



議員活動



研修会にて発言しました

京都サンガ応援する
議員連盟
の懇親会にて台北駐大阪経済文化弁事處
范 振 國 處長との会談

府内を奔走中！多種多様な会合で、新しい視点やアイデアを日々吸収しています

京都おでかけエール「外出応援キット」をお届け

【申込】2027年1月31日(日)まで

【対象】0~2歳の子どもがいる世帯・妊娠している方

※申し込み時点で京都府内在住者

申込及び詳細はこちらから →

京都府議会の“いま”をお知らせ中
フォローをお願いします

YouTube



X





1 就職氷河期世代への支援について



非正規雇用やキャリア形成の遅れ、低貯蓄等による老後の不安や介護等の問題に直面する方もいる。

- (1) 支援や取組を実施する中で見えてくる課題を踏まえ、現状をどう捉えているのか。
- (2) 「わくわくする京都」を掲げる中で、この世代も希望が持てるためにどうするのか。



答弁

- (1) 京都ジョブパーク内にカウンセリングとハローワークによる職業紹介を一体的に行う専用の支援窓口を設置するなど、個々の状況に応じた支援を行い、一定の効果はあったものと考えているが、正社員として働くことに自信を持っていない方や十分な職業経験を持たない方の雇用をためらう企業の声もある。令和6年度からは、働きながらスキルアップできる「就業・育成一貫支援プログラム」を開始し、安定就労と人材育成に取り組んできた。このプログラムは、就職氷河期世代のニーズが高く、令和7年度は企業とのマッチング交流会の回数を増やすことで、正規雇用につながっている。一人ひとりに寄り添ったきめ細かい支援を行うとともに、雇用先となる企業にも丁寧に支援することで、活躍の機会を広げていきたい。
- (2) 今年度、子どもから高齢者まで、誰もが「わくわくする京都」をつくるための歩みをスタートさせていく。「これからの人生が楽しみだ」とわくわくしながら歩めるよう、新たなキャリアや学び直しに挑戦し、社会の第一線で能力を存分に発揮できる環境を整えることが、行政の役割だと考える。企業や地域の皆様と一丸となり、一人ひとりの挑戦を全力で応援するなど、包括的な支援を推進していきたい。



2 京都式あんしん避難所の構築について

今回の予算案で、京都式あんしん避難所構築事業費が計上された。(6月補正予算概要参照)

- (1) 避難所運営の支援は不可欠であるが、個々の意識や主体性も重要であり、運営に参加できる進め方は。
- (2) 事業費で作成される避難所運営の手引きの内容の図り方は。

答弁

- (1) 避難所運営は、行政による物資供給や体制整備のみならず、避難者一人ひとりが無理のない形で参画することが重要である。市町村や関係機関と連携し、学校における防災教育や出前語らいなどの普及啓発を通じて、府民の防災意識の醸成に取り組んでいる。また、避難者自身が運営に参画しやすくするためには、運営全体をマネジメントする仕組づくりが必要だと考え、その人材として、京都式避難生活サポーターを育成し、避難者の主体的な参画を支援していきたい。
- (2) 手引きの作成については、きめ細やかな支援内容、内容が複雑になりすぎないように簡潔に整理し、図表を活用するなど専門的な知識がなくても実践できるよう工夫し、作成後もブラッシュアップしていきたい。



3 新たな宇治茶の認証制度の創設について

認証制度によって宇治茶の品質確保を期待するが、抹茶に関して、茶農家、茶商、加工品製造・販売業者など関係者が幅広いことによる合意形成の難しさや、技術や製法による独自性の違いもあることから、基準の統一が難しいと考える。今後の進め方とスケジュールをどうするのか。



答弁

お茶の市場が混とんとしている今、宇治茶のブランディングを強化する必要があると考え、認証制度の議論を早急に進め、国内外に宇治茶の品質と信頼の証を示せる仕組みを構築する。

認証制度については、「プレミアム宇治茶認証制度」や地理的表示保護制度などの効果や課題も検証しながら、今年度検討を重ね、次年度には検討結果に基づく新たな認証制度の試行、検証を実施、制度を固めていきたい。制度構築にあたっては、多用途性に起因する様々な利害関係からくる困難さも十分認識しており、生産から販売に至る各段階の事業者の意向を踏まえ、丁寧な合意形成を進め、今後とも、業界団体と一体となり、伝統を守りつつ、世界に誇る宇治茶ブランドの更なる発展に向け取り組んでいきたい。

総合政策環境建設交通常任委員会でも質問しました

総合政策環境部

□万博のレガシーについて

藤 山：昨年行われた大阪関西万博では京都府でも

様々な取組が行われた。そこで様々なレガシー

を生み、新たな取組へと発展するものもあると思う。一方で、その取り組みを通して、府庁内でも部局をこえた様々な連携が生まれるなど、府庁内にもレガシーが残っているのではないかなと思う。そういった事例があれば、ぜひ教えていただきたい。

理事者：フラッグシップアクションなどの取組を通して部局間の連携がさらに深まったということが、府庁内でのレガシーだと考えている。

今年度、全国都市緑化フェア in 京都丹波、ワールドマスタースゲームズ※が開催されるので、そのレガシーを活かしていきたい。

藤 山：課題に対応するにも、新たな目的をもって取り組みを進めるにしても、やはり

「予算」がつきまとう。そこを補う方法として、部局間連携が非常に重要ではないかなと思う。

この総合政策環境部は、そういう連携を推し進める部局であるので、アンテナをはり、マッチングやブラッシュアップにも取り組んでいただきたい。

今年行われる総合計画の改定にもそういった視点を活かしてほしい。

※ワールドマスタースゲームズ 2027 関西

【開催期間】 2027.5.14 ~ 2027.5.30

競技出場者・ボランティア大募集!!

詳細はこちらから →



建設交通部

□指導停止線について



藤 山：最近、指導停止線（停止線が破線になっているもの）をよく目にするようになった（左図）。

指導停止線は公安委員会による交通規制を伴うものではなく、道路管理者が設置するものと認識しているが、くわしく教えてほしい。

理事者：区画線として設置している。法定外の路面標示、危険個所に設置している。警察と相談して設置している。

藤 山：地元に変則的な交差点があり、その交差点内に指導停止線が引いてあるところがある。以前から危険が指摘されていた交差点で、安全対策としてその指導停止線は、非常に大きな役割を果たしていると思う。

ただ一方で、停止線と勘違いし、前方の信号が赤にな

ったときにその指導停止線で停車され、後続車が進めないということもある。道路交通法に関わる表示は、運転免許証を取得する際に学ぶので皆さんご存じではあるが、道路管理者が設置するものについては、なかなか知る機会がない。府民の皆さんに正しく知って、正しくルールを守っていただくことが必要だと思う。何らかの形で広報する必要があると思うがどうか。

理事者：混乱を招く可能性があるということは指摘の通り。

警察と検討を協議・調整しながら広報する方法を検討したい。

令和 8 年度 6 月補正予算の概要 総額 322 億 5,000 万円

一部抜粋のため、詳細はホームページのお知らせをご覧ください

子育て環境日本一・京都の深化

- ・子育てにやさしい職場づくり事業費 5,800 万円
- ・次世代探究トップランナー創出事業費(企業等との連携により次代を担う人材を育成) 1,000 万円
- ・公立高校改革リーディング事業費(公立高校魅力化に向けた取組) 6 億 6,500 万円

世界に輝く京都産業・文化の創造

1 京都産業の未来を切り拓く

- ・AI×半導体×ものづくり産業プロジェクト事業費 3,500 万円
- ・京都フードテック推進事業費 3 億 400 万円
(宇治市の京都プレミアム中食オープンイノベーションラボ(仮称)機器整備等)
- ・Tech Design Square Kyoto 推進事業費(中小企業技術センター内に開設) 700 万円

2 豊かな恵みをもたらす農林水産業の活性化

- ・京の地域農業モデル形成プロジェクト事業費(地域農業の維持発展の担い手支援等) 2,700 万円
- ・京の農業世界展開チャレンジ事業費(京野菜等の海外への販路開拓等) 2,000 万円
- ・世界に広がる宇治茶ブランド構築事業費(宇治茶文化を守り、発展に向けた取組を強化) 500 万円

3 文化が息づく京都を磨く

- ・Kyōto YouMe Triennale(京都 ゆめ トリエンナーレ)開催事業費 500 万円
(国内外の工芸品が集まる 3 年に1度の国際展が東本願寺「渉成園」等で R8.10 月に開催)
- ・歴史的建造物等保存伝承事業費 8,200 万円

4 地域に活力を生み出す交流・連携の推進

- ・「まるっと京都」観光ブランド価値強化事業費(国内旅行者の宿泊促進) 3,200 万円
- ・KYOTO GAMES 開催事業費 1,000 万円
(府民総体を全世代参加型のスポーツイベント「KYOTO GAMES」としてリニューアル)
- ・地域未来づくりプロジェクト推進費(地域課題解決に向けた活動等を支援) 1 億 5,000 万円

府民の命と健康を守り抜く安心できる京都の確立

1 健やかに暮らせる社会を創る

- ・京都版 CDC 創設事業費(「京都感染症対策センター」を府市共同で R8.10 月創設) 1,000 万円
- ・府立看護学校整備費(北部地域における質の高い看護師確保・養成等にむけて) 47 億 2,500 万円
- ・きょうのつながるひろばモデル事業費 2,000 万円
(幅広い世代が気軽に交流できる場のモデルを創出)

2 府民を災害・犯罪から守る

- ・京都式あんしん避難所構築事業費 1,200 万円
(発災初期から生活再建まで、安心して避難できる支援体制を市町村や民間と協働で構築)
- ・広域防災活動拠点等整備費(山城総合運動公園内に備蓄倉庫を整備) 2,800 万円

人・物・情報・日々の生活の基盤づくり / 中東情勢への対応

- ・道路整備等の公共事業 104 億 300 万円
- ・持続可能な地域共創交付金(人口減少対策に向けた市町村の取組を支援) 12 億円
- ・LP ガス価格高騰対策費(販売事業者を通じ、1 契約あたり上限 1,000 円の支援) 2 億 9,000 万円